

タブレットを活用した授業実践

2年B組国語科

「図表を用いて提案する」ミニ校内研として実施しました。今回の学習課題は「根拠をあげたり、接続語を用いたりして、説得力のある話し方をしよう」でした。今回は2年B組の教室で、一人一台タブレット端末を使っての授業です。



教師用のタブレット端末を液晶テレビにつないで、生徒の2つのプレゼンテーションの動画をみました。生徒の協力により事前に撮影した「課題のあるプレゼン」と「より工夫さ

れたプレゼン」を比較し、工夫されたプレゼンの良いところを生徒が発表しました。「発表に動作を付けている」「最後にお礼を言っている」「抑揚を工夫している」「具体的な数値を挙げて説明している」「重要なことは繰り返して説明している」「聞いている人に問いかけるなど、説得力のある話し方をしている」等が生徒から出されました。

次に、より説得力のあるプレゼンを行うために、説明の仕方の練習を行いました。教師用のタブレット端末の画面を、授業支援ソフトSKYMENUの「投影」機能を使って、生徒用タブ



レットに投影しました。生徒はその画面を使い「こちらのグラフを御覧ください。

これは〇〇です。」
「ここを見てください。このグラフを見ると(実は、なんと〜〜)」
「この結果から、つまり〜〜」のフォーマットを使って説明練習をしました。

練習後、生徒が作成している「絵コンテ」を、今回学習した内容をもとに修正し、タブ



レット端末を使ってプレゼンの練習を行いました。

二人一組になり、発表者はタブレット端末にスライドを表示しながら、相手に伝わる説明を心がけていました。発表の場面を、聞き手に回った生徒がタブレットで録画し、発表後に発表者の生徒が自分の発表を確認していました。

